

全国大学ビブリオバトル 2024

～首都決戦～

実施報告書

全国大学ビブリオバトル運営事務局

目次

全国大学ビブリオバトルレギュレーション	1
1 開催概要	2
1-1 本戦 開催概要	2
1-2 ブロック決戦 開催概要	2
1-3 ブロック予選 開催概要	5
1-4 オンライン開催の要件	7
1-5 ブロック予選・ブロック決戦 開催団体一覧	8
2 ブロック予選・ブロック決戦 開催報告	14
2-1 ブロック予選報告	16
2-2 ブロック決戦報告	24
3 本戦 開催報告	29
3-1 セミファイナル	30
3-2 ファイナル	33
4 「全国大学ビブリオバトル 2024～首都決戦～」本戦レポート	34
5 その他	45
5-1 予選団体アンケート結果	45
5-2 ブロック予選・ブロック決戦主催団体 広報ウェブサイト	45
6 記録	46
6-1 ちらし・ポスター素材	46
6-2 メディア掲載（一部）	47
一般社団法人ビブリオバトル協会のご案内	48
ビブリオバトル普及委員会のご案内	49
関連書籍の紹介	50

全国大学ビブリオバトルレギュレーション

前文：

ブロック予選、ブロック決戦、本戦すべてのビブリオバトル開始前に、司会者がビブリオバトル公式ルールおよび以下の全国大学ビブリオバトルレギュレーション（1～10）を読み上げ、ビブリオバトルの趣旨を参加者に周知してください。

1. 本やエピソードを紹介するための小道具の使用は認める。
2. レジュメの配布は禁止とする。
3. 読み上げレジュメの持ち込みは禁止とする。ただし、本へのメモ書きや付箋の添付などは認める。
4. パワーポイントやキーノートなどの、プレゼンテーションツールの使用は禁止とする。
5. 発表の際、発表参加者は必ず5分間を使い切ること。
6. ディスカッションの時間では、発表内容の揚げ足を取ったり、批判的な問いかけをしてはならない。発表内容で分からなかった点の追加説明を求めたり、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断に必要な質問を心がけること。
7. 投票の基準は、「どの本が一番読みたくなったか？」であり、知り合いや身内の応援といった理由で投票を行わないこと。
8. 投票権は、すべての発表を聞いた参加者にのみ与えられる。
9. 司会者は10の場合を除き、投票には参加しない。
10. チャンプ本が複数となった場合は、決選投票を行う。その際、司会者1名の票を1/2票として加える。

ビブリオバトル公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

1 開催概要

1-1 本戦 開催概要

名称：第 15 回全国大学ビブリオバトル～首都決戦～（全国大学ビブリオバトル 2024 本戦）

開催日時：2024 年 12 月 22 日（日）11 時 50 分開会

開催場所：昭和女子大学（東京都世田谷区太子堂 1-7-57）

主 催：活字文化推進会議

共 催：一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

特別協力：昭和女子大学

協 力：松竹芸能

協 賛：日本書籍出版協会

主 管：読売新聞社

後 援：日本書店商業組合連合会、文字・活字文化推進機構、大日本印刷、文部科学省

公式ウェブサイト：<https://zenkoku.bibliobattle.jp/>

公式ツイッターアカウント：[@bibliozenkoku](https://twitter.com/bibliozenkoku)

主催者ウェブサイト：<https://katsuji.yomiuri.co.jp/archives/category/college/>

1-2 ブロック決戦 開催概要

ブロック決戦は「全国大学ビブリオバトル 2024 本戦」に進む出場者を決めるビブリオバトルのイベントである。ブロック決戦主催団体は「全国大学ビブリオバトル 2024〇〇ブロック決戦」のクレジットの下で、ブロック決戦を開催する。

主催：各ブロック決戦主催団体・個人

後援：活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会、他

開催日時：原則 2024 年 10 月 12 日～11 月 24 日の期間でブロック決戦主催団体の定める日

出場資格：各地で開催されるブロック予選を勝ち抜いた者

開催ブロック：

- ・ ブロック決戦主催団体応募状況に応じ、ブロック割りを全国大学ビブリオバトル運営事務局が決定する。
- ・ 最大で 36 ブロックを上限とする。
- ・ 一つのブロックの境界は都道府県境を一つの基準とするが、必ずしも他県からの参加を拒むものではなく、また、複数県で一つの地区をつくる場合もある。

<ブロック決戦主催団体の役割>

① 本選出場者の決定

「全国大学ビブリオバトル 2024」ブロック決戦の運営を行い、ブロック代表を決定する。全国大学ビブリオバトル運営事務局の示すブロック決戦開催要項を十分尊重しながら、ブロックの状況を踏まえ、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。ブロッ

ク決戦の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守して行う。

② **ブロック内のブロック予選主催者との連携**

全国大学ビブリオバトル運営事務局の窓口として、ブロック内で開催されるブロック予選主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、ブロック内で開催された各ブロック予選情報を把握する。

ブロック決戦出場者に対する交通費補助については、ブロック予選主催団体が確認する。予選結果の報告については、ブロック予選主催団体が予選結果のフォームに入力・送信するとともに、メールにてブロック決戦主催団体にその旨を報告することとなっている。なお、予選結果の確認フォームの URL は、全国大学ビブリオバトル運営事務局よりブロック決戦主催団体に事前にメールで周知される。

③ **全国大学ビブリオバトル運営事務局との連携**

ブロック内の状況を逐次、運営事務局に報告する。また、ブロック決戦終了後、すみやかにブロック決戦の結果を全国大学ビブリオバトル運営事務局に報告する。

<ブロック決戦主催団体 募集期間>

2024 年（第 1 次締切）6 月 23 日、（第 2 次締切）7 月 25 日、（第 3 次締切）7 月 31 日

<ブロック決戦 開催要項>

1. ブロック決戦主催者は期間内（原則：10 月 12 日～11 月 24 日）にブロック決戦を開催し、その結果について下記の内容をすみやかに運営事務局に報告する。

① ブロック決戦主催者情報

メールアドレス、ブロック名、主催団体名、ご担当者名

② ブロック決戦情報

開催日、開催方法、ブロック決戦会場、ブロック決戦発表参加者数、発表参加者を除くブロック決戦参加者数

③ ブロック決戦チャンプ本獲得者情報

チャンプ本獲得者氏名、所属学校名・学部・学年、メールアドレス、連絡先電話番号、チャンプ本（書誌名、著者名、出版社名）、得票数

④ 得票数が次点、3 番手の発表参加者情報

紹介本、氏名、得票数

⑤ 発表本情報（チャンプ本、得票数次点、3 番手以外の書籍名）

ブロック決戦をオフライン開催にするかオンライン開催にするかは問いません。

オフライン・オンラインの参加者が混在するハイブリッドの開催も認める。

* オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

オフライン開催：原則参加者が実在する会場に集まり、対面環境で行う

オンライン開催：原則参加者が Zoom、Google Meet、Teams 等を用いて、インターネット上の会場に集って行う

2. ブロック決戦進出者を決めるブロック予選が 3 回以上開催されること。なお、ブロック予選はブロック予選開催要項にしたがったものである。ブロック予選がブロック決戦と同日開催でも構わない。
3. 担当するブロックでのブロック予選開催者と連絡を取り合い、ブロック決戦に支障のない運営に取り組む。ブロック決戦出場者への通知など、担当するブロック内で開催されるブロック予選開催者との連携も含まれる。また、ブロック決戦の開催情報を事前に運営事務局に報告する。
4. 担当するブロック内でブロック予選を開催することを奨励し、ブロック決戦が盛り上がるように心がける。
5. 担当するブロックのすべてのブロック予選でのチャンプ本獲得者をブロック決戦の参加者として受け入れる。発表参加者が多数になった場合、ブロック決戦のなかで準決勝→決勝のように階層を分けることは可能とする。
6. ブロック決戦主催団体が、独自に参加者の補助を行うことは自由とする。
7. ブロック決戦主催団体の中で必ず、1名はビブリオバトル普及委員会に入会する。
8. ブロック決戦の様子は終了後、本戦当日までの間にブログまたはウェブサイトなどを通して発信すること。また、それが「全国大学ビブリオバトル 2024」のブロック決戦であることを明記する。
9. ブロック決戦主催団体が個別に協賛等を得ることは自由とする。また、ブロック決戦は、活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会が後援する。
主催：各ブロック決戦主催団体
後援：活字文化推進会議、一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会
10. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意、協力する。
11. ブロック決戦はビブリオバトル公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催する。特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知する。
12. ブロック決戦では紹介される本にテーマを設定することは不可とする。ブロック予選でのテーマの設定は自由とする。

<ブロック決戦交通費補助>

- ① 所属大学最寄り駅（鉄道）からブロック決戦会場最寄り駅（鉄道）の交通費が往復 3,000 円以上かかる出場者に限り、その半額（ただし、自己負担上限額を 5,000 円とする）が運営事務局より補助される。
- ② ブロック予選開催後、該当するブロック決戦出場者へ、運営事務局より申請について案内する。
- ③ 交通費は運営事務局より出場者の金融機関口座へ直接振り込む。
* ブロック決戦がオンライン開催の場合、交通費の補助はない。

1-3 ブロック予選 開催概要

ブロック予選は、「全国大学ビブリオバトル 2024 ブロック決戦」に進む出場者を決めるイベントである。

主催：各ブロック予選主催団体・個人

開催日時：原則 2024 年 6 月～ブロック決戦主催団体の定める期限内

出場資格：大学生・大学院生

<ブロック予選主催団体の役割>

① ブロック決戦出場者の決定

ブロック予選の運営を行い、各ブロック決戦出場者を 1 名決定する。運営事務局の示すブロック予選開催要項を十分尊重しながら、ビブリオバトルの普及に役立つ形での運営を心がける。ブロック予選の開催については、ビブリオバトル公式ルール、ならびに全国大学ビブリオバトルレギュレーションを遵守して行う。

オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

② 該当のブロック決戦主催者との連携

該当のブロック決戦主催者と連携し、出場者への通知などの対応を行う。また、ブロック予選終了後はすみやかに結果をブロック決戦主催者に報告すること。

③ ブロック決戦出場者の交通費補助申請

ブロック予選から選出したブロック決戦出場者には条件付きで交通費補助がある。ブロック予選主催団体は交通費補助の規定に該当するかどうかを確認し、運営事務局へ報告する。

<ブロック予選 開催要項>

1. 原則 6 月～11 月（もしくはブロック決戦主催団体の定める期日まで）の期間に「全国大学ビブリオバトル 2024」の予選となるビブリオバトルを開催し、ブロック決戦に出場する学生を決定する。

2. ブロック予選の開催種別は、オープン開催とクローズ開催の 2 種類がある。

- ・オープン開催：複数の大学・専門学校の学生が出場可能な開催

- ・クローズ開催：出場者を特定の 1 つの大学・専門学校の学生に制限する開催

オープン開催が望ましいが、事情により出場者を限定する場合、クローズ開催を認める。クローズ開催をする場合は、下記 3 の B「9 名以上の発表参加者による 2 階層以上の開催」を条件とする。

※オープン開催で募集をしたが、結果的に外部からの応募が無かった場合はオープン開催として認められる。

※やむを得ない事情で 9 人未満のクローズ開催になる場合、事前にその旨を運営事務局に届け承認を得る。

※急病や交通事情等で出場者がキャンセルしたことにより定員を下回る場合は、やむを得ない事情として開催が認められる。（ただし、オープンの場合は 2 名以上、クローズの場合は 8 名以上が必要です。）

3. オープン開催の場合は下記 A、B どちらかの条件を、クローズ開催の場合は B の条件を満たすこと。

A. 原則として 4 名以上の発表参加者、かつ視聴参加者と発表参加者の合計が 10 名以上となるビブリオバトル。

B. 原則として 9 名以上の発表参加者による、2 階層以上のブロック予選

A、B ともに、発表参加者は大学生・大学院生（*1）に限定する。

（*1）

- ・ 専門学校、高専生など大学生相当年齢の学生含む。
- ・ 社会人大学生・大学院生、履修生等は、年齢は問わず参加資格があるものとする。
- ・ 大学・大学院・専門学校・高等専修学校については、学校教育法上該当するものに限る。
- ・ その年度の 9 月卒業生も含む。
- ・ 上記に該当しない学生で出場を希望される方は、運営事務局までご相談ください。

4. ブロック予選をオフライン開催するかオンライン開催するかは問わない。

オフライン・オンラインの参加者が混在するハイブリッドの開催も認める。

* オンライン開催の場合、オンライン開催の要件も遵守する。

オフライン開催：原則参加者が実在する会場に集まり、対面環境で行う。

オンライン開催：原則参加者が Zoom、Google Meet、Teams 等を用いて、インターネット上の会場に集って行う。

5. すでに他のブロック予選でチャンプ本を獲得した者以外であれば、複数回ブロック予選に出場することも可能とする。ただし、同一の主催者が開催するブロック予選に、同じ学生が複数回出場することは不可とする。

6. 1 つのブロック予選開催者が複数のブロック予選を開催した場合は、ブロック予選の数だけブロック決戦へチャンプ本獲得の学生を輩出することができるが、必ず公平を期した運営を行い、ブロック予選の情報については、開催毎にブロック決戦主催団体へ報告する。

7. ブロック予選終了後、下記の内容をすみやかにブロック決戦主催団体まで報告すること。

- ① ブロック予選主催者情報（ブロック名、主催団体名、担当者名）
- ② ブロック予選情報（開催日、開催方法、ブロック予選会場）
- ③ ブロック予選の中で行われたビブリオバトルの階層数（1 階層または 2 階層以上）
- ④ 発表参加者数（実人数）
 - * 2 階層以上のブロック予選を行った場合、下位予選に出場した人数
- ⑤ 発表参加者以外（視聴参加者）の参加者数（およそ）
- ⑥ 参加学校名（すべて（発表参加者））
- ⑦ チャンプ本獲得者（ブロック決戦進出者）情報
 - ・ 氏名（ふりがな）
 - ・ 学校名、学部、学年
 - ・ 連絡先電話番号
 - ・ 連絡先メールアドレス（PC アドレス）

- ・ブロック決戦会場への交通費補助の対象に該当するかどうか
- ・チャンプ本情報（書籍名）

⑧ チャンプ本以外の紹介本情報（書籍名）

8. ブロック予選申込み後、本要項を満たす開催が困難であると予想される場合は、すみやかに運営事務局、およびブロック決戦主催団体に連絡する。
9. ブロック予選の様子は終了後、本戦当日までの間にブログまたはウェブサイトなどを通して発信する。詳細な形式は問わない。また、それが「全国大学ビブリオバトル 2024」のブロック予選であることを明記する。
10. 本大会の個人情報の取扱いの指針に同意いただき、協力する。
11. ブロック予選は公式ルール、および全国大学ビブリオバトルレギュレーションに則り開催する。特に、ルールの補足についてもよく理解し、開催の際に必ずビブリオバトルの趣旨を観客も含めた参加者全員に周知する。
12. 紹介する本にテーマを設定しても構わない。ブロック決戦ではテーマの設定は不可とする。

1-4 オンライン開催の要件

1. 原則、発表時およびディスカッション時（ビブリオバトル公式ルール 2. と 3. に相当）、発表を行う参加者の映像・音声を、参加者全員が視聴できる状態であること。ただし、通信状況や通信機器のトラブル等による一時的な映像・音声の中断は認める。
2. 発表参加者側の通信環境が原因で発表・ディスカッションが中断された場合、原則発表・ディスカッションのやり直しは行わない。
3. 発表参加者が画面共有機能を使用することは不可とする。
4. ディスカッション時、質問をチャット機能などを用いてテキスト形式で募集しても構わない。ただし、その場合参加者は原則質問や感想、回答等をディスカッションの時間のみ送信できることとする。

1-5 ブロック予選・ブロック決戦 開催団体一覧

表 1-1. ブロック予選・ブロック決戦 開催団体一覧

ブロック	ブロック決戦主催団体名
東北 A	ブロック決戦主催団体：海辺の図書館
	ノキシタビブリオ
	東北大学学習支援センターSCC
	東北学院大学図書館
関東 A	ブロック決戦主催団体：彩の国大学生ビブリオバトル実行委員会
	聖学院大学総合図書館
	文教大学越谷図書館学生協働サポーター ほんだな係
	秋草学園短期大学
	城西大学水田記念図書館
	聖学院大学人文学部欧米文化学科
関東 B	ブロック決戦主催団体：群馬県大学図書館協議会
	高崎商科大学 A
	高崎商科大学 B
	高崎商科大学 C
	高崎商科大学 D
	育英大学・育英短期大学図書館
	群馬大学中央図書館
関東 C	ブロック決戦主催団体：茨城県ビブリオバトル実行委員会
	常磐大学
	筑波大学ビブリオバトル実行委員会
	茨城キリスト教大学
	茨城大学図書館
	茨城女子短期大学

関東 D	ブロック決戦主催団体：帝京大学メディアライブラリーセンター
帝京大学 共読サポーターズ	
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 A	
個人開催	
おにひこビブリオ	
関東 E	ブロック決戦主催団体：Kat'n Bac
帝京大学メディアライブラリーセンター	
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 B	
帝京平成大学池袋キャンパス学友会	
青山学院大学万代記念図書館	
北陸 A	ブロック決戦主催団体：金沢大学附属図書館
金沢大学附属図書館	
富山大学附属図書館	
石川県立大学 図書・情報センター	
福井大学附属図書館	
敬和学園大学図書館	
中部内陸 A	ブロック決戦主催団体：山梨英和大学附属図書館
山梨英和大学附属図書館 A	
山梨英和大学附属図書館 B	
都留文科大学附属図書館	
東海 A	ブロック決戦主催団体： 名古屋きたビブリオバトル（主催）、名城大学社会連携センター（協力）
名古屋きたビブリオバトル A	
名古屋きたビブリオバトル B	
中部学院大学附属図書館	
東海 B	ブロック決戦主催団体：皇學館大学ビブロフィリア
皇學館大学ビブロフィリア	

皇學館大学 岡野ゼミ	
皇學館大学附属図書館ふみくら倶楽部	
関西 A	ブロック決戦主催団体：龍谷大学図書館ライブラリーサポーター
龍谷大学ライブラリーサポーター	
龍谷大学図書館	
追手門学院大学「日本語表現」 授業担当	
大阪成蹊短期大学	
関西 B	ブロック決戦主催団体：大阪工業大学知的財産学部
大阪工業大学知的財産学部水野ゼミ	
大阪工業大学図書館大宮本館	
神戸女子大学須磨キャンパス図書館ボランティア	
関西 C	ブロック決戦主催団体：大阪経済大学図書館
大阪経済大学図書館 A	
大阪経済大学図書館 B	
大阪成蹊大学	
大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	
関西 D	ブロック決戦主催団体：生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館
摂南大学図書館 枚方分館	
帝塚山大学文学部フミヨミプロジェクト	
四天王寺大学図書館	
関西 E	ブロック決戦主催団体：生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館
生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館	
摂南大学図書館 寝屋川本館	
大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館	
奈良県立大学村瀬ゼミ 3 回生 NMK	

中国 A	ブロック決戦主催団体： 島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会
島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会 A	
島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会 B	
島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会 C	
中国 B	ブロック決戦主催団体： 広島県大学図書館協議会
広島市立大学附属図書館	
広島大学図書館	
福山大学附属図書館	
中国 C	ブロック決戦主催団体： 鳥取県大学図書館等協議会
公立鳥取環境大学情報メディアセンター	
鳥取大学 学生図書館ワーキンググループ	
図書館倶楽部（学生サークル）	
中国 D	ブロック決戦主催団体： 広島県大学図書館協議会
広島工業大学附属図書館	
県立広島大学	
福 books（図書館学生ボランティア）	
四国 A	ブロック決戦主催団体：愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決戦実行委員会事務局
松山大学図書館 A	
松山大学図書館 B	
愛媛県立医療技術大学 A	
愛媛県立医療技術大学 B	
松山大学「児童サービスでもビバ！」	
愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」	
四国 B	ブロック決戦主催団体： 阿波ビブリオバトルサポーター
阿波ビブリオバトルサポーター	
まちライブラリー・ビブリオラボとくしま	

徳島大学附属図書館	
九州 A	ブロック決戦主催団体：鎮西学院大学附属図書館
鎮西学院大学ぶっく倶楽部 A	
鎮西学院大学ぶっく倶楽部 B	
鎮西学院大学附属図書館	
鎮西学院大学菅原ゼミ	
九州 B	ブロック決戦主催団体： 鹿児島大学図書館サポーターおよび宮崎大学附属図書館学生サポーター
鹿児島大学	
鹿児島大学附属図書館サポーター	
宮崎大学附属図書館サポーター	
九州 C	ブロック決戦主催団体：福岡女子短期大学
福岡女子短期大学文化教養学科 A	
福岡女子短期大学文化教養学科 B	
北九州市立大学図書館	
九州 D	ブロック決戦主催団体：福岡女子短期大学
日本赤十字九州国際看護大学図書館運営委員会	
福岡女子短期大学第 58 回風早祭	
九州女子大学 生活デザイン学科	
全国 A	ブロック決戦主催団体：一般社団法人ビブリオバトル協会
阪大ビブリオバトル A	
阪大ビブリオバトル B	
北海学園大学図書館サークル「おおぐま座」	
大東文化大学 60 周年記念図書館	
個人開催	
本戦開催校枠	主催団体：昭和女子大学ビブリオバトル実行委員会

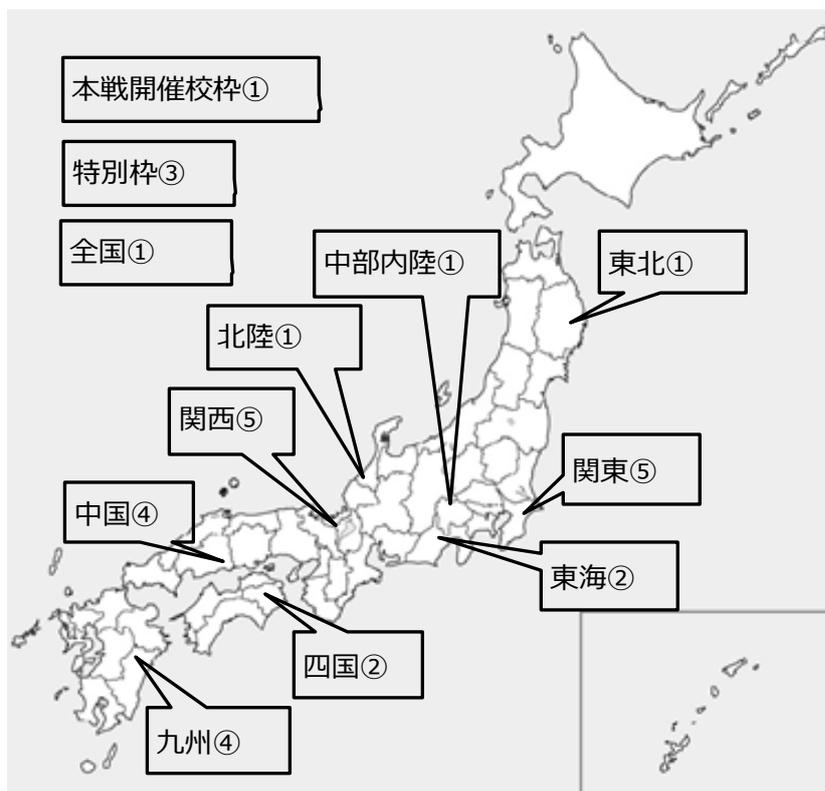


図 1-1. 各ブロックの本戦参加枠数配分

2 ブロック予選・ブロック決戦 開催報告

2024 年は前年度と同様の本戦主催体制で、ブロック予選・ブロック決戦主催団体の募集を6月にスタートし、本戦の12月に向けてほぼ半年間をかけて、ブロック予選・ブロック決戦を開催した。また、前大会に続き「特別枠制度※」を実施し、本戦発表は30名参加となった。過去の情報を含めたブロック予選・ブロック決戦および本戦の各参加数を表2-1に示す。また、予選会開催回数と発表者の推移をグラフに示す。

表2-1. ブロック予選・ブロック決戦および本戦 参加数

年度	予選会*1 開催数	予選会 発表 参加者数*2	予選会 観客数*3 (おおよそ)	予選会 参加学校数	本戦 発表 参加者数	本戦 観客数*5 (おおよそ)
2024年	102回	1,756名	4,977名	101校	30名	450名
2023年	122回	1,583名	5,658名	93校	30名	400名
2022年	104回	1,524名	2,234名	81校	25名	300名
2021年	28回	624名	1,179名	51校	30名	235名
2020年	28回	494名	800名	60校	23名	199名
2019年	293回	1,526名	5,450名	128校	36名	400名
2018年	223回	1,598名	4,597名	115校	36名	800名
2017年	209回	1,090名	5,044名	127校	36名	350名
2016年	228回	1,207名	5,600名	125校	29名	500名
2015年	181回	914名	4,500名	98校	30名	450名
2014年	180回	874名	4,400名	130校	30名	450名
2013年	177回	804名	4,000名	124校	30名	3,300名
2012年	132回	524名	2,400名	92校	32名	3,000名
2011年	32回	182名	950名	32拠点*4	34名	1,600名
2010年	15回	53名	—	28校	20名	450名

*1 予選会は、ブロック予選・ブロック決戦の合計（2024年は予選会開催回数）

*2 発表参加者数（2024年は実人数）

*3 観客数は延べ人数

*4 2011年の参加学校数は36大学以上

*5 本戦観客数は2013年度までは延べ人数、2014年度以降は入場者数

◆2020年、2021年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止になったため、代替大会として「[大学ビブリオバトル・オンライン大会2020](#)」「[大学ビブリオバトル・オンライン大会2021](#)」を開催した。2020年大会の本戦観客数はZoom参加者数。2021年大会の本戦観客数はZoomの投票者数。

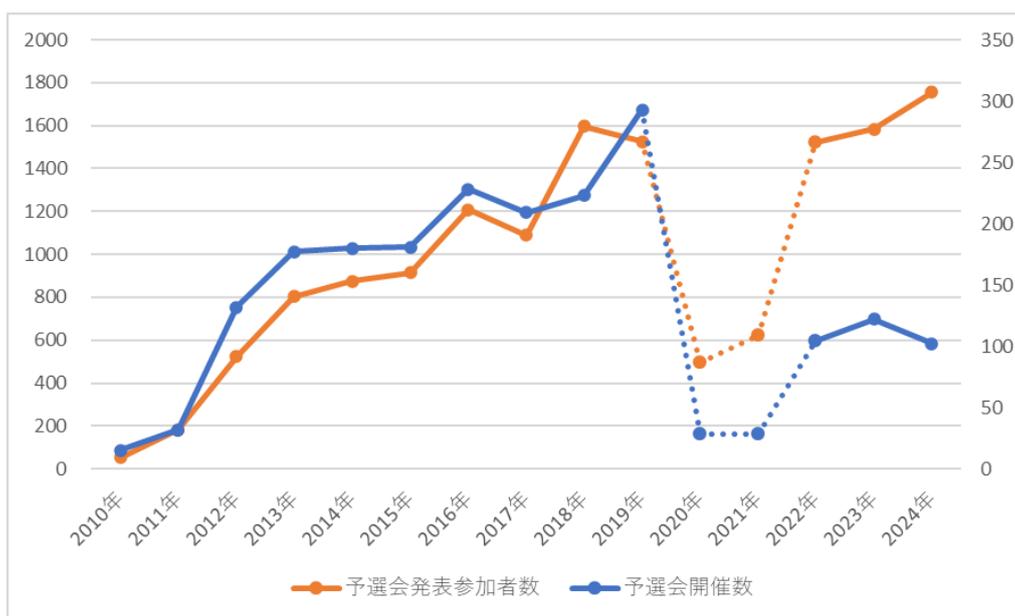


図 2-1. 予選開催数と発表者数の推移

※特別枠制度（敗者復活枠・追加配分枠・本戦開催校枠）について
特別枠は、原則、以下の場合に本戦への出場枠を追加する。

- ・敗者復活枠：本戦出場枠数に対する発表参加者数が他のブロックに比べて多く、各発表参加者に不公平が生じると判断されたブロックへ新たに枠を与える。原則、次点発表参加者が特別枠候補となる。
- ・追加配分枠：一つのブロック決戦主催団体が多くのブロック予選を開催し、一地区として独立させることが妥当とされる場合や、地域全体の状況や全国の状況から新たに枠を与えるに値すると判断された場合、新たに枠を与える。
- ・本戦開催校枠：本戦の会場となった大学に対して、一枠与える。

2-1 ブロック予選報告

各ブロック別のブロック予選開催状況を表 2-2 に示す。ウェブサイト上で公開された各地のブロック予選・ブロック決戦の開催の様子についてまとめた報告書は、公式ウェブサイトの記録ページにて公開している。<https://zenkoku.bibliobattle.jp/records2024>

表 2-2. ブロック予選開催状況

団体名	開催日	開催場所	発表者数	観客数
東北 A ブロック				
東北大学学習支援センターSCC	10/23	東北大学川内北キャンパス講義棟 B 棟 2 階 B200 教室、Zoom	6	10
東北学院大学 図書館	10/31	東北学院大学中央図書館 1F 学習室	6	19
ノキシタビブリオ	11/2	Open Village ノキシタ、Zoom	5	7
東北 A ブロック 計			17	36
関東 A ブロック				
聖学院大学人文学部欧米文化学科	7/26	聖学院大学	22	43
城西大学水田記念図書館	10/9	城西大学水田記念図書館 2 階視聴覚室	5	57
秋草学園短期大学	9/20 11/1	秋草学園短期大学構内	18	123
聖学院大学総合図書館	11/2	聖学院大学総合図書館	3*	23
文教大学越谷図書館学生協働サポーター ほんだな係	11/4	文教大学越谷図書館	6	38
関東 A ブロック 計			54	284
関東 B ブロック				
高崎商科大学 A	9/18	高崎商科大学	6	15
高崎商科大学 B	9/18	高崎商科大学	5	14
高崎商科大学 C	9/18	高崎商科大学	5	13
高崎商科大学 D	9/18	高崎商科大学	5	14
育英大学・育英短期大学図書館	10/10	育英大学・育英短期大学 G 棟 1F アクティブラーニングスペース	5	6
群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館	10/24	群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館 2 階学習室	4	17
関東 B ブロック 計			30	79

関東 C ブロック				
茨城大学図書館	10/16	茨城大学講堂、Teams	7	200
筑波大学ビブリオバトル実行委員会	10/16	筑波大学春日エリアビブリオバトルスタジオ	6	17
茨城女子短期大学	10/18	茨城女子短期大学 1号館 21 教室	5	44
茨城キリスト教大学	10/22	茨城キリスト教大学図書館 2F ラーニングコモンズエリア	5	17
常磐大学	10/30	常磐大学 H 棟大講義室	4	33
関東 C ブロック 計			27	311
関東 D ブロック				
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 A	10/22	千葉大学	9	10
個人開催	10/26	ROOMS 水道橋店（貸会議室）	3*	5
帝京大学 共読サポーターズ	10/26	帝京大学メディアライブラリーセンター	59	122
おにひこビブリオ	11/7	Skype	5	3
関東 D ブロック 計			76	140
関東 E ブロック				
青山学院大学万代記念図書館	10/12	青山学院大学万代記念図書館	3*	33
帝京大学メディアライブラリーセンター	10/27	帝京大学メディアライブラリーセンター	4	38
千葉大学ビブリオバトル実行委員会 B	10/29	千葉大学	10	23
帝京平成大学池袋キャンパス学生会	11/2	帝京平成大学池袋キャンパス本館	3*	14
関東 E ブロック 計			20	108
中部内陸 A ブロック				
山梨英和大学附属図書館 A	10/23	山梨英和大学附属図書館	5	15
都留文科大学附属図書館	11/2	都留文科大学附属図書館	5	16
山梨英和大学附属図書館 B	11/7	山梨英和大学附属図書館	6	17
中部内陸 A ブロック 計			16	48

東海 A ブロック				
名古屋きたビブリオバトル A	9/28	名城大学社会連携ゾーン shake	4	7
中部学院大学附属図書館	10/28	中部学院大学 関キャンパス L.E.A.P.Plaz	6	18
名古屋きたビブリオバトル B	11/12	名城大学社会連携ゾーン shake	3*	3
東海 A ブロック 計			13	28
東海 B ブロック				
皇學館大学 岡野ゼミ	11/14	皇學館大学附属図書館 2階 ラーニングcommons	4	15
皇學館大学ビブロフィリア	11/14	皇學館大学附属図書館 2階 ラーニングcommons	5	5
皇學館大学附属図書館ふみくら 倶楽部	11/20	皇學館大学附属図書館 2階 ラーニングcommons	4	6
東海 B ブロック 計			13	26
北陸 A ブロック				
金沢大学附属図書館	10/11	金沢大学附属図書館 中央図書館ブック クラウンジ (ほんとかふえ。)	4	24
富山大学附属図書館	10/16	富山大学中央図書館プレゼンテーシ ョンゾーン	3*	17
敬和学園大学図書館・敬和図書 愛好会ライブラリオ	10/27	敬和学園大学図書館	3*	22
石川県立大学 図書・情報セン ター	10/30	石川県立大学 図書・情報センター	3*	34
福井大学附属図書館	11/1	福井大学総合図書館 1階ラウンジ	4	20
北陸 A ブロック 計			17	117
関西 A ブロック				
追手門学院大学「日本語表現」 授業担当	7/22	追手門学院大学総持寺キャンパス図 書館 3階アカデミックアリーナ	324	2,200
大阪成蹊短期大学図書館	10/10	大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 グローバル館 1階	370	50
龍谷大学ライブラリーサポーター	10/28	龍谷大学 深草図書館 B1階 ナレッジスクエア	4	15
龍谷大学深草図書館	10/30	龍谷大学 深草図書館 B1階 ナレッジスクエア	4	12
関西 A ブロック 計			702	2,277

関西 B ブロック				
大阪工業大学知的財産学部水野ゼミ	10/10	大阪工業大学大宮キャンパス 1号館 181 セミナー室	7	12
神戸女子大学須磨キャンパス図書館ボランティア	10/15	神戸女子大学須磨キャンパス 図書館 4階 AV ホール	4	15
大阪工業大学図書館大宮本館	10/19	大阪工業大学図書館大宮キャンパス 5号館 6F ラーニングコモンズ 6	7	20
関西 B ブロック 計			18	47
関西 C ブロック				
大阪経済大学図書館 A	6/14	大阪経済大学図書館	4	31
大阪経済大学図書館 B	10/18	大阪経済大学図書館	5	32
大阪成蹊大学図書館	10/24	大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 図書館棟 3F ラウンジ	320	40
大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	11/6	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス図書館	2*	13
関西 C ブロック 計			331	116
関西 D ブロック				
摂南大学図書館 枚方分館	10/26	摂南大学 枚方キャンパス	5	9
帝塚山大学文学部フミヨミプロジェクト	11/1	帝塚山大学東生駒キャンパス 1号館 1205 教室	5	10
四天王寺大学図書館	10/16	四天王寺大学図書館閲覧室	12	163
	10/23			
	10/25			
	10/28			
11/4				
関西 D ブロック 計			22	182
関西 E ブロック				
生駒ビブリア倶楽部、生駒市図書館	10/27	生駒市図書館	6	18
摂南大学図書館 寝屋川本館	11/12	摂南大学寝屋川キャンパス	4	7
大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館	11/14	大阪電気通信大学 四條畷キャンパス図書館	5	7
奈良県立大学村瀬ゼミ 3 回生 NMK	11/21	鯛清	6	30
関西 E ブロック 計			21	62

中国 A ブロック				
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会 A	6/24	島根県立大学松江キャンパス図書館	6	33
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会 B	8/7	石見銀山まちを楽しくするライブラリー	3*	17
島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会 C	11/9	島根県立大学松江キャンパスおはなしレストランライブラリー	5	23
中国 A ブロック 計			14	73
中国 B ブロック				
福山大学附属図書館	10/19	福山大学附属図書館	7	11
広島市立大学附属図書館	10/26	広島市立大学附属図書館	5	25
広島大学図書館	11/9	広島大学中央図書館 BIBLA グループスペース	4	7
中国 B ブロック 計			16	43
中国 C ブロック				
図書館倶楽部	10/13	鳥取短期大学付属図書館	6	20
公立鳥取環境大学情報メディアセンター	10/26	公立鳥取環境大学 12 講義室	5	17
鳥取大学 学生図書館ワーキンググループ	10/29	鳥取大学附属図書館	5	16
中国 C ブロック 計			16	53
中国 D ブロック				
県立広島大学	10/19	サテライトキャンパスひろしま	5	20
福 books (図書館学生ボランティア)	10/27	啓文社 BOOKS PLUS 緑町内わかば塾みどり町教室	6	27
広島工業大学附属図書館	11/13	広島工業大学講義棟三宅の森 Nexus21 Nexus.for	5	46
中国 D ブロック 計			16	93
四国 A ブロック				
愛媛大学「メディアを知ろう in 愛大」	5/29	愛媛大学教育学部 103 教室	6	67
松山大学図書館 A	6/27	文京キャンパス 2 号館 1 階 214 番教室	8	34
松山大学「児童サービスでもビバ！」	7/18	松山大学 872 教室	20	1
愛媛県立医療技術大学 A	7/25	愛媛県立医療技術大学	50	5

愛媛県立医療技術大学 B	7/25	愛媛県立医療技術大学	49	5
松山大学図書館 B	10/17	文京キャンパス 2号館 1階 214 番教室	4	27
四国 A ブロック 計			137	139
四国 B ブロック				
阿波ビブリオバトルサポーター	10/20	徳島大学附属図書館	4	6
まちライブラリー・ビブリオラ ボとくしま	10/26	徳島大学総合科学部	4	12
徳島大学附属図書館	11/5	徳島大学附属図書館 1階	4	13
四国 B ブロック 計			12	31
九州 A ブロック				
鎮西学院大学附属図書館	7/7	諫早市立諫早図書館	4	40
鎮西学院大学菅原ゼミ	8/26	鎮西学院大学附属図書館	4	13
鎮西学院大学 ぶっく倶楽部 A	9/16	ミライ on 図書館	3*	24
鎮西学院大学 ぶっく倶楽部 B	10/13	長崎県庁 協働エリア	4	24
九州 A ブロック 計			15	101
九州 B ブロック				
鹿児島大学	10/5	鹿児島大学附属図書館、Teams	4	11
宮崎大学附属図書館学生サポ ーター	10/5	Teams	4	7
鹿児島大学附属図書館サポ ーター	10/6	鹿児島大学附属図書館、Teams	4	11
九州 B ブロック 計			12	29
九州 C ブロック				
福岡女子短期大学文化教養学科 A	6/12 10/9	福岡女子短期大学	22	17
福岡女子短期大学文化教養学科 B	6/12 10/9	福岡女子短期大学	22	17
北九州市立大学図書館	10/26	北九州市立大学図書館 図書館 1F 図書館ホール	5	17
九州 C ブロック 計			49	51

九州 Dブロック				
日本赤十字九州国際看護大学図書館運営委員会	7/25 7/26 10/15 10/18	日本赤十字九州国際看護大学ラーニングcommons	9	63
九州女子大学 生活デザイン学科	10/19	九州女子大学 50周年記念ホール	45	195
福岡女子短期大学第58回風早祭	11/2	福岡女子短期大学	3*	30
九州 Dブロック 計			57	288
全国 Aブロック				
阪大ビブリオバトル A	9/7	Skype	4	8
阪大ビブリオバトル B	9/7	Skype	3*	9
北海学園大学図書館サークル「おおぐま座」	10/15	北海学園大学豊平キャンパス 1号館 2階 A305 ゼミ室	6	11
大東文化大学図書館	10/19	大東文化大学 60周年記念図書館	5	58
個人開催	11/20	Skype	5	9
全国 Aブロック 計			23	95
本戦開催校枠				
昭和女子大学ビブリオバトル実行委員会①	10/16	昭和女子大学 3S03	3	30
昭和女子大学ビブリオバトル実行委員会②	10/16	昭和女子大学 3S04	3	30
昭和女子大学ビブリオバトル実行委員会③	10/18	昭和女子大学 3S03	3	30
昭和女子大学ビブリオバトル実行委員会④	10/18	昭和女子大学 3S04	3	30
本戦開催校枠 計			12	120
総合計			1,756	4,977

*当日の体調不良や交通事情により辞退者あり。

表 2-3. 予選会発表参加者 所属校一覧

青山学院大学	神戸大学	東北大学
秋草学園短期大学	公立鳥取環境大学	常磐大学
秋田大学大学院	國學院大學	徳島大学
育英短期大学	駒沢大学	鳥取看護大学
石川県立大学	四天王寺大学	鳥取大学
茨城キリスト教大学	島根県立大学	鳥取短期大学
茨城女子短期大学	十文字学園女子大学	富山大学
茨城大学	尚絅学院大学	奈良県立大学
叡啓大学	城西大学	奈良大学
愛媛県立医療技術大学	昭和女子大学	日本赤十字九州国際看護大学
愛媛大学	信州大学	広島市立大学
追手門学院大学	聖学院大学	広島工業大学
大阪経済大学	摂南大学	広島大学
大阪工業大学	仙台医療福祉専門学校	福井大学
大阪国際大学	大東文化大学	福岡女子短期大学
大阪成蹊大学	高崎商科大学	福島大学
大阪成蹊短期大学	高崎商科大学短期大学部	福山市立大学
大阪大学	千葉大学	福山大学
大阪電気通信大学	中央大学	文教大学
大手前大学	中部学院大学	放送大学
鹿児島大学	中部大学	北陸学院大学
金沢大学	鎮西学院大学	北海学園大学
川村学園女子大学	筑波大学	松山大学
北九州市立大学	都留文科大学	宮崎大学
九州女子大学	帝京大学	宮崎短期大学
京都大学	帝京平成大学	名城大学
近畿大学	テクノ・ホルティ園芸専門学校	盛岡大学
群馬大学	帝塚山大学	山梨英和大学
群馬大学大学院	東京大学	横浜国立大学
芸術文化観光専門職大学	東京都市大学	龍谷大学
敬和学園大学	東京農業大学	和歌山大学
県立広島大学	同志社大学	
皇學館大学	東北学院大学	
高知県立大学	東北芸術工科大学	
神戸女子大学	東北工業大学	

合計 101 校

2-2 ブロック決戦報告

表 2-4. ブロック決戦開催状況

ブロック	主催団体名	開催日	開催場所	発表者数(名)	観客数(名)
東北 A	海辺の図書館	11/9	せんだい 3.11 メモリアル交流館	3	25
関東 A	彩の国大学生ビブリオバトル実行委員会	11/9	イオンモール上尾・サウスコート	5	26
関東 B	群馬県大学図書館協議会	11/2	群馬県立図書館	6	95
関東 C	茨城県ビブリオバトル実行委員会	11/10	茨城県立図書館視聴覚ホール ※YouTube 生配信でオーディエンス参加あり	5	85
関東 D	帝京大学メディアライブラリーセンター	11/9	紀伊國屋書店新宿本店 アカデミック・ラウンジ	4	16
関東 E	Kat'n Bac	11/17	紀伊國屋書店新宿本店	4	30
中部内陸 A	山梨英和大学附属図書館	11/16	山梨県生涯学習推進センター	3	40
東海 A	名古屋きたビブリオバトル(主催)、名城大学社会連携センター(協力)	11/16	名城大学社会連携ゾーン shake	3	9
東海 B	皇學館大学ビブロフィリア	11/21	皇學館大学 5号館 521 教室	3	25
北陸 A	金沢大学附属図書館	11/16	石川県立図書館 だんだん広場	4*	53
関西 A	龍谷大学図書館 ライブラリーサポーター	11/9	龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 アクティビティホール	4	15
関西 B	大阪工業大学知的財産学部	11/4	大阪工業大学梅田キャンパス 1階 エントランスギャラリー	3	20
関西 C	大阪経済大学図書館	11/16	大阪経済大学図書館	4	25
関西 D	生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館	11/24	生駒市図書会館 第2研修室	3	34
関西 E	生駒ビブリオ倶楽部、生駒市図書館	11/24	生駒市図書会館 第2研修室	4	35
中国 A	島根県立大学松江キャンパス図書館学生図書委員会	11/20	島根県立大学松江キャンパス図書館	3	28
中国 B	広島県大学図書館協議会	11/16	広島大学東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB	3	31

中国 C	鳥取県大学図書館等協議会	11/10	鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ	3	19
中国 D	広島県大学図書館協議会	11/16	広島大学東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB	3	31
四国 A	愛媛地区大学図書館協議会 ビブリオバトル愛媛地区決 戦実行委員会事務局	11/2	愛媛大学中央図書館 4階視聴覚室	5*	27
四国 B	阿波ビブリオバトルサポ ーター	11/17	徳島大学附属図書館、Zoom	3	3
九州 A	鎮西学院大学附属図書館	11/10	諫早市立諫早図書館	4	35
九州 B	鹿児島大学図書館サポ ーターおよび宮崎大学附属図 書館学生サポーター	10/27	宮崎大学、鹿児島大学、 Teams	3	6
九州 C	福岡女子短期大学	11/9	福岡女子短期大学	3	31
九州 D	福岡女子短期大学	11/9	福岡女子短期大学	3	32
全国 A	一般社団法人ビブリオバ トル協会	11/24	Zoom	5	21
本戦開催 校枠	昭和女子大学ビブリオバ トル実行委員会	11/10	昭和女子大学 8号館オー ラホール	4	70
合 計				100	867

*ブロック予選チャンプ本獲得者によるブロック決戦出場辞退のため、欠場者あり。

表 2-5. ブロック決戦結果一覧

ブロック	チャンプ本 獲得者	所属名	ブロック決戦チャンプ本
東北 A	楠 裕人	東北大学大学院 文学研究科 1年（修士）	『推理大戦』 似鳥鶏（著） 講談社
関東 A	小此木 陽菜	テクノ・ホルティ園芸専門学 校 園芸 I 類学科 1年	『全裸刑事チャーリー』 七尾与史（著） 宝島社
関東 B	岩崎 圭汰	群馬大学 理工学部 4年	『また、同じ夢を見ていた』 住野よる（著） 双葉社
関東 C	高瀬 皓太	帝京大学 文学部 4年	『まず牛を球とします。』 柞刈湯葉（著） 河出書房新社
関東 D	近藤 結菜	千葉大学 教育学部 1年	『あの日の交換日記』 辻堂ゆめ（著） 中央公論新社
関東 E	高野 裕太	東京農業大学 生命科学部 4年	『レペゼン母』 宇野碧（著） 講談社
中部内陸 A	外田 佑子	信州大学 教育学部 2年	『最良の嘘の最後のひと言』 河野裕（著） 東京創元社
東海 A	キンキントウ	中部学院大学 短期大学部 2年	『わたしが「わたし」を助けに行こう —自分を救う心理学—』 橋本翔太（著） サンマーク出版
東海 B	中岡 知優	皇學館大学 文学部 3年	『あかね噺』 末永裕樹（原作）、馬上鷹将（作画） 集英社
北陸 A	櫻井 亜仁沙	石川県立大学 生物資源環境学部 2年	『江戸川乱歩傑作集 3 芋虫』 江戸川乱歩（著） リブレ出版
関西 A	妻野 祐己	大阪成蹊短期大学 栄養学科 1年	『葉桜と魔笛』 太宰治（著） 立東舎
関西 B	北川 一葉	神戸女子大学 文学部史学科 3年	『#殺人事件の起きないミステリー』 岡崎琢磨、小西マサテル、塔山郁、友 井羊、柊サナカ（著） 宝島社

関西 C	小坂 世志朗	大阪電気通信大学 総合情報学部 3年	『いい人すぎるよ凶鑑』 明円卓、佐々木 日菜、真子千絵美 (著) PHP研究所
関西 D	松本 桃果	四天王寺大学 文学部 1年	『最後の医者は桜を見上げて君を想う』 二宮敦人 (著) TOブックス
関西 E	上白木 綾菜	大阪電気通信大学 工学部 3年	『仕事で大切なことはすべて尼崎の 小さな本屋で学んだ』 川上徹也 (著) ポプラ社
中国 A	嶋田 光紗	島根県立大学 人間文化学部 3年	『本の背骨が最後に残る』 斜線堂有紀 (著) 光文社
中国 B	野田 楓稀	広島市立大学 情報科学研究科 2年 (修士)	『いつまでもデブと思うなよ』 岡田斗司夫 (著) 新潮社
中国 C	遠藤 聡志	鳥取短期大学 幼児教育保育学科 2年	『1まいのがようし』 長坂真護 (作) あかね書房
中国 D	豊崎 花	叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン 学部 4年	『四日間家族』 川瀬七緒 (著) KADOKAWA
四国 A	松本 歩果	松山大学 人文学部 4年	『マカン・マラン 二十三時の夜食カ フェ』 古内一絵 (著) 中央公論新社
四国 B	中井 里沙	徳島大学 生物資源産業学部 3年	『僕は君を殺せない』 長谷川夕 (著) 集英社
九州 A	末吉 翔和	鎮西学院大学 総合社会学部 3年	『vivy prototype』 長月達平・梅原英司 (著) マッグガーデン
九州 B	宮田 彩花	鹿児島大学 歯学部 6年	『O・ヘンリー短編集』 O・ヘンリー (著) 旺文社
九州 C	平山 愛実	福岡女子短期大学 文化教養学科 1年	『鏡の国』 岡崎琢磨 (著) PHP研究所
九州 D	深川 結美	日本赤十字九州国際看護大学 看護学部 2年	『今宵も喫茶ドードーのキッチン で。』 標野凧 (著) 双葉社

全国 A	田仲 花	大東文化大学 文学部 2年	『鏡の国』 岡崎琢磨（著） PHP研究所
------	------	---------------------	----------------------------

表 2-6. 特別枠一覧

ブロック	特別枠選出者	大学名	ブロック決戦紹介本
関東 B	久保 綾音	高崎商科大学短期大学部 現代ビジネス学科 1年	『努力は仕組み化できる』 山根承子（著） 日経 B P
関東 C	小川 莉奈	茨城女子短期大学 表現文化学科 2年	『文庫版 地獄の楽しみ方』 京極夏彦（著） 講談社
全国 A	大西 美優	広島大学 文学部 4年	『ギリシャ語の時間』 ハン・ガン（著） 晶文社
本戦開催校 枠	小林 美紅	昭和女子大学 人間文化学部 3年	『アリアドネの声』 井上真偽（著） 幻冬舎

3 本戦 開催報告

<本戦 開催概要>

開催日時：2024年12月22日（日）11時50分開会

開催場所：昭和女子大学（東京都世田谷区太子堂 1-7-57）

主 催：活字文化推進会議

共 催：一般社団法人ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会

特別協力：昭和女子大学

協 力：松竹芸能

協 賛：日本書籍出版協会

主 管：読売新聞社

後 援：日本書店商業組合連合会、文字・活字文化推進機構、大日本印刷、文部科学省

発表参加者：30名

<プログラム>

11:50	開会式
12:50～	セミファイナル 前半：セミファイナル①②③ 後半：セミファイナル④⑤⑥
14:55～	トークセッション [ゲスト] 袖月 裕子さん（作家） 佐藤 康光さん（将棋棋士）
15:35～	ファイナル
17:30	閉会式（結果発表・表彰式・記念撮影）

3-1 セミファイナル

表 3-1. セミファイナル出場者・紹介本一覧（結果）

セミファイナル①：8号館 5L44

ブロック	紹介本	氏名	所属
関西 A	『葉桜と魔笛』 太宰治（著） 立東舎	妻野 祐己	大阪成蹊短期大学 栄養学科 1年
関東 D	『あの日の交換日記』 辻堂ゆめ（著） 中央公論新社	近藤 結菜	千葉大学 教育学部 1年
九州 B	『O・ヘンリー短編集』 O・ヘンリー（著） 旺文社	宮田 彩花	鹿児島大学 歯学部 6年
中国 A	『本の背骨が最後に残る』 斜線堂有紀（著） 光文社	嶋田 光紗	島根県立大学 人間文化学部 3年
本戦開催校 枠	★チャンプ本 『アリアドネの声』 井上真偽（著） 幻冬舎	小林 美紅	昭和女子大学 人間文化学部 3年

セミファイナル②：8号館 6L41（コスモスホール）

ブロック	紹介本	氏名	所属
関東 C	★チャンプ本 『まず牛を球とします。』 柞刈湯葉（著） 河出書房新社	高瀬 皓太	帝京大学 文学部 4年
九州 D	『今宵も喫茶ドードーのキッチン で。』 標野凧（著） 双葉社	深川 結美	日本赤十字九州国際看護 大学 看護学部 2年
全国 A	『鏡の国』 岡崎琢磨（著） PHP研究所	田仲 花	大東文化大学 文学部 2年
中国 B	『いつまでもデブと思うなよ』 岡田斗司夫（著） 新潮社	野田 楓稀	広島市立大学 情報科学研究科 2年（修士）
東海 A	『わたしが「わたし」を助けに行 こう—自分を救う心理学—』 橋本翔太（著） サンマーク出版	キンキントウ	中部学院大学 短期大学部 2年

セミファイナル③：8号館 6L01（オーロラホール）

ブロック	紹介本	氏名	所属
関西 B	『#殺人事件の起きないミステリー』 岡崎琢磨／小西マサテル／塔山郁 ／友井羊／柊サナカ（著） 宝島社	北川 一葉	神戸女子大学 文学部 3年
関東 A	★チャンプ本 『全裸刑事チャーリー』 七尾与史（著） 宝島社	小此木 陽菜	テクノ・ホルティ園芸専 門学校 園芸I類学科 1年
九州 C	『鏡の国』 岡崎琢磨（著） PHP研究所	平山 愛実	福岡女子短期大学 文化教養学科 1年
四国 B	『まず牛を球とします。』 柘刈湯葉（著） 河出書房新社	中井 里沙	徳島大学 生物資源産業学部 3年
【特別枠】 全国 A	『ギリシャ語の時間』 ハン・ガン（著） 晶文社	大西 美優	広島大学 文学部 4年

セミファイナル④：8号館 5L44

ブロック	紹介本	氏名	所属
関西 C	『いい人すぎるよ図鑑』 明円卓／佐々木日菜／真子千絵美 （著） PHP研究所	小坂 世志朗	大阪電気通信大学 総合情報学部 3年
九州 A	『影法師』 百田尚樹（著） 講談社	末吉 翔和	鎮西学院大学 総合社会学部 3年
中国 C	★チャンプ本 『1まいのがようし』 長坂真護（作） あかね書房	遠藤 聡志	鳥取短期大学 幼児教育保育学科 2年
東海 B	『浜村渚の計算ノート』 青柳碧人（著） 講談社	中岡 知優	皇學館大学 文学部 3年
東北 A	『推理大戦』 似鳥鶏（著） 講談社	楠 裕人	東北大学大学院 文学研究科 1年（修士）

セミファイナル⑤：8号館 6L41（コスモスホール）

ブロック	紹介本	氏名	所属
関西 D	『怪物』 佐野晶（著） 宝島社	松本 桃果	四天王寺大学 文学部 1年
関東 B	『また、同じ夢を見ていた』 住野よる（著） 双葉社	岩崎 圭汰	群馬大学 理工学部 4年
関東 E	『レペゼン母』 宇野碧（著） 講談社	高野 裕太	東京農業大学 生命科学部 4年
中国 D	★チャンプ本 『四日間家族』 川瀬七緒（著） KADOKAWA	豊崎 花	叡啓大学 ソーシャルシステム デザイン学部 4年
【特別枠】 関東 C	『文庫版 地獄の楽しみ方』 京極夏彦（著） 講談社	小川 莉奈	茨城女子短期大学 表現文化学科 2年

セミファイナル⑥：8号館 6L01（オーロラホール）

ブロック	紹介本	氏名	所属
関西 E	『仕事で大切なことはすべて尼崎 の小さな本屋で学んだ』 川上徹也（著） ポプラ社	上白木 綾菜	大阪電気通信大学 工学部 3年
四国 A	『世界でいちばん透きとおった物 語』 杉井光（著） 新潮社	松本 歩果	松山大学 人文学部 4年
中部内陸 A	『最良の嘘の最後のひと言』 河野裕（著） 東京創元社	外田 佑子	信州大学 教育学部 2年
北陸 A	★チャンプ本 『江戸川乱歩傑作集 3 芋虫』 江戸川乱歩（著） リブレ出版	櫻井 亜仁沙	石川県立大学 生物資源環境学部 2年
【特別枠】 関東 B	『努力は仕組み化できる』 山根承子（著） 日経 B P	久保 綾音	高崎商科大学短期大 学部 現代ビジネス学科 1年

3-2 ファイナル

表 3-2. ファイナル進出者・紹介本一覧（結果）

ブロック	紹介本	氏名	所属
関東 A	<p>☆グランドチャンプ本 『全裸刑事チャーリー』 七尾与史（著） 宝島社</p>	小此木 陽菜	テクノ・ホルティ園芸専門学校 園芸I類学科 1年
中国 D	<p>☆準グランドチャンプ本 『四日間家族』 川瀬七緒（著） KADOKAWA</p>	豊崎 花	叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 4年
北陸 A	<p>☆ゲスト特別賞 『江戸川乱歩傑作集 3 芋虫』 江戸川乱歩（著） リブレ出版</p>	櫻井 亜仁沙	石川県立大学 生物資源環境学部 2年
関東 C	<p>『まず牛を球とします。』 柞刈湯葉（著） 河出書房新社</p>	高瀬 皓太	帝京大学 文学部 4年
中国 C	<p>『1 まいのがようし』 長坂真護（作） あかね書房</p>	遠藤 聡志	鳥取短期大学 幼児教育保育学科 2年
本戦開催校枠	<p>『アリアドネの声』 井上真偽（著） 幻冬舎</p>	小林 美紅	昭和女子大学 人間文化学部 3年

4 「全国大学ビブリオバトル 2024～首都決戦～」本戦レポート

ビブリオバトル普及委員会 高橋一彰

2024年12月22日（日）、昨年に引き続き、昭和女子大学にて「全国大学ビブリオバトル 2024～首都決戦～」が開催されました。開幕直後には壮大な和太鼓の演奏が行われ、その後、カモシダせぶんさんと酒井瞳さん（ともに松竹芸能）の進行による開会式が始まりました。



会場レポーターを務めた吉富さくらさん（松竹芸能）は、観客席を回ってインタビューを行い、「初めて参加しましたが、今から楽しみです」「昨年も参加しており、どんな本が紹介されるのかワクワクしています」などの感想を観覧者からいただきました。会場の熱気が高まる中、北海道から九州、特別枠など、全国の予選会を勝ち抜いた代表 30 名の発表者が、司会者お二人の軽妙なトークとともに紹介されました。

続いて、主催者代表として読売新聞東京本社・活字文化推進会議の新庄秀規さんよりご挨拶がありました。新庄さんは、活字文化推進会議が設立された背景や、2024年のニュース（能登半島地震、パリ五輪、アメリカ大統領選、大谷翔平選手の活躍など）に触れつつ、書店や読書量の減少が進む中でビブリオバトルの大会が持つ意義について熱く語りました。

さらに、一般社団法人ビブリオバトル協会代表理事の谷口忠大さんからのご挨拶があり、各地区の予選会を運営された方々への感謝が述べられました。谷口さんは、国内外で選挙が行われた2024年を振り返り、情報の多様性や、異なる視点を持つことの重要性を再認識したと語りました。

その後、カモシダせぶんさんよりビブリオバトルの公式ルールと首都決戦のレギュレーションが説明され、開会式は終了しました。私は、前半はセミファイナル②、後半はセミファイナル⑥の会場で観戦しました。

【セミファイナル②】

セミファイナル②では、過去の全国大学ビブリオバトルに出場経験のある榎村真由さんが司会を担当されました。セミファイナル開始前には、「私も全国大学ビブリオバトルに参加したことがあります。発表前は緊張しますよね」と声をかけ、発表者の皆さんをリラックスさせる場面がありました。

発表参加者が全員集まり、発表順を決めるくじ引きが行われ、以下の順番で進行することとなりました。

1. 日本赤十字九州国際看護大学 深川結美さん
2. 広島市立大学大学院 野田楓稀さん
3. 中部学院大学短期大学部 キンキントウさん
4. 帝京大学 高瀬皓太さん
5. 大東文化大学 田仲花さん

発表順が決定した後、早速1番手の深川さんの発表がスタートしました。

1. 深川結美さん 標野凧著『今宵も喫茶ドードーのキッチンで。』（双葉社・2022年）

こちらは喫茶店を舞台に、悩みを抱えた人々が店を訪れ、癒しや気づきを得る様子を描いた物語です。深川さんは、大学1年生のときに悩んでいた自身の経験を話され、表紙のアップルパイや「自分を労るメニューあります」という帯の言葉に惹かれて手に取ったことがきっかけと語りました。この本が悩みを和らげる助けとなり、続編がある点や、手軽に読める文庫サイズも魅力だと紹介してくださいました。

2. 野田楓稀さん 岡田斗司夫著『いつまでもデブと思うなよ』（新潮社・2007年）

野田さんは、内定式でスーツを着た際に「ベルトが締まらない」という経験をし、大学図書館でこちらの本に出会いました。本の内容である「レコーディングダイエット」は、野田さんにとって新鮮な発想で、ダイエット以外の悩みにも応用できると感じたと言いました。

3. キンキントウさん 橋本翔太著『わたしが「わたし」を助けに行こうー自分を救う心理学ー』（サンマーク出版・2024年）

ミャンマーから日本に留学したキンさんは、内乱とコロナ禍で大切な家族を失った過去を最初にお話しし、「今、やりたいことをやろう」という思いで日本に来た中、この本のタイトルに惹かれ、手に取ったとのこと。本を通じて「いろんな自分」と対話し、心の癒しや前向きさを取り戻したと言いました。

4. 高瀬皓太さん 柞刈湯葉著『まず牛を球とします。』（河出書房新社・2022年）

こちらの本はSF短編集で、「動物を殺さずに食べる未来の技術」や「極端に追求された多様性社会」をテーマにした作品です。「日本タイトルだけ大賞」を受賞したタイトルの面白さに加え、設定や内容のユニークさに惹かれました。そして、この作品に描かれた未来が現実になる可能性もあると感じたと高瀬さんは語りました。

5. 田仲花さん 岡崎琢磨著『鏡の国』（PHP 研究所・2023 年）

こちらの本は、外見至上主義（ルッキズム）や自己認識をテーマに、登場人物の葛藤を通じて現代社会への問いかけを行うミステリー小説です。田仲さんは、「2 回読みたくなるほど奥深い作品」と熱く語りました。

セミファイナル②では、高瀬さんが紹介された『まず牛を球とします。』がチャンプ本に選ばれました。高瀬さんは昨年もファイナルに進出しており、今回は大学 4 年生で最後の挑戦ということで「意地でここまで勝ち上がった」とのことです。最後もいつもどおりの調子で、皆さんに伝わるように本を紹介したい」と意気込みを語られていました。



【セミファイナル⑥】

セミファイナル⑥では、昨年の全国大学ビブリオバトル 2023 でゲスト特別賞を受賞した山上出雲さんが司会を務めました。発表順は以下のとおりです。

1. 松山大学 松本歩果さん
2. 大阪電気通信大学 上白木綾菜さん
3. 石川県立大学 櫻井亜仁沙さん
4. 信州大学 外田佑子さん
5. 高崎商科大学 久保綾音さん

発表順が決定後、1 番手の松本さんから発表が始まりました。

1. 松本歩果さん 杉井光著『世界でいちばん透きとおった物語』（新潮社・2023 年）

こちらの本は、大御所ミステリ作家が亡くなり、主人公である長男が遺作を探しながら衝撃の真実にたどり着く物語です。松本さんはこの本を「今まで読んだ中で一番美しい」と語り、その魅力を「仕掛けや人間関係の深さ、美しさ」にあると語りました。また、未読の方には「新しい読書体験を」、既読の方には「再読で新たな発見を」と会場の皆さんに勧めていました。

2. 上白木綾菜さん 川上徹也著『仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ』(ポプラ社・2020年)

こちらの本は、実在する書店をモデルにしたノンフィクション作品です。上白木さんは自身のコンプレックスを抱えながらも、この本の「弱みを強みに変える」というエピソードに心を動かされたこと、そして、本を通じて新たな視点を得られたことが、自身の考え方を根本から変えたと言いました。

3. 櫻井亜仁沙さん 江戸川乱歩著『江戸川乱歩傑作集 3 芋虫』(リブレ出版・2015年)

『芋虫』は、戦争で重傷を負った夫と彼を支える妻の物語であり、20ページという短い中に「人間とは」「生きる価値とは」という重いテーマが詰まっています。櫻井さんは「要介護の状態で生きる価値について考えたことはありますか?」と会場の観覧者に問いかけ、「この本が会場にいらっしゃる方々に新たな視点を提供する」ことを熱く語りました。

4. 外田佑子さん 河野裕著『最良の嘘の最後のひと言』(東京創元社・2017年)

こちらの本は、超能力者を条件に高額報酬の採用試験に挑む7人が繰り広げるミステリー小説です。外田さんは、本書が持つ「読者までもだます巧妙な仕掛け」に驚かされたと話し、物語の構成力と意外性の魅力を紹介しました。

5. 久保綾音さん 山根承子著『努力は仕組み化できる』(日経B P・2024年)

こちらは、「努力は仕組み化できる」というテーマに基づき、経済学的なアプローチで努力の習慣化を解説した本です。久保さんは、この本を参考にしたダイエットで5キロ減量に成功したエピソードを共有し、目標設定やフィードバックの重要性について語りました。

セミファイナル⑥では、櫻井亜仁沙さんが紹介した『江戸川乱歩傑作集 3 芋虫』がチャンプ本に選ばれました。櫻井さんは「ほかの皆さんの発表が素晴らしかったので、ファイナル進出は予想外でしたが、とても嬉しいです。グランドチャンプ本を獲得することを目指しつつ、少しでも皆さんに新たな観点や気づきが得られるよう、精一杯頑張りつつ、楽しみながらファイナルに挑みたいです」と意気込みを語りました。



【トークセッション】

セミファイナル終了後、カモシダせぶんさんと酒井瞳さんの進行でトークセッションが行われました。カモシダさんはセミファイナルを見て、小説の深みを紹介する人や、設定の面白さを語る人など、それぞれの個性豊かなプレゼンスタイルに感銘を受けたと話し、「本の内容をまとめるレベルが高くなっていることに驚いた」と語りました。

今回のトークセッションには、作家の柚木裕子さんと将棋棋士の佐藤康光さんがゲストとして登場しました。柚木さんは「読む側の楽しみを再確認するために会場に足を運んだ」と語り、佐藤さんは「緊張しているが、楽しいお話を届けたい」と述べ、会場を和ませました。

トークセッションの最初のテーマは、「読書と私」から始まりました。柚木さんは、「本」というものは昔から何でも好きだったと語り、小学校2～3年生の頃に初めて読んだのが横溝正史の『本陣殺人事件』だったと振り返りました。当時は会話やひらがなを拾い読みしながら満足していたとのこと。また、作家を目指したきっかけについて、「すごい作家になろうと思ったことはなく、戸惑いながらデビューした」と話し、デビュー時のエピソードを披露しました。佐藤さんは、小学1年生で将棋を覚えて以来、将棋関連の本を中心に読んでいたと話しましたが、ドリトル先生シリーズや三国志、沢木耕太郎の『深夜特急』も愛読していたと語りました。



「好きな本や愛読書は何か」という質問に対し、佐藤さんは「30代になって社会派ミステリーに興味を持ち始め、松本清張を読むようになった」とお話しされました。また、柚木さんは将棋を題材にしたミステリー小説『盤上の向日葵』の制作秘話（なぜ将棋を題材に書こうと思ったのか？）について話す場面があり、「駒の動かし方しか知らない状態から執筆を始めた」と明かし、徹底的なリサーチと多くの人々の協力を得て完成させたなどあまり聞くことのできないエピソードについて語りました。また、『盤上の向日葵』を書くきっかけには、『砂の器』や『麻雀放浪記』といった作品に影響を受けたことがあるともお話しされました。

そして、佐藤さんも『盤上の向日葵』を読んだ感想として、「負けたシーンは自分の対局経験と重なり、大きな痛感を覚える」と語りました。

「大学生へのおすすめの1冊」というテーマでは、柚木さんはレイス・セプルベダの『カメに飛ぶことを教えた猫』を、佐藤さんは山口瞳の『礼儀作法入門』をそれぞれ紹介しました。

柚木さんが『カモメに飛ぶことを教えた猫』をおすすめした理由として、黒猫ゾルバがカモメとの約束を果たす心温まる物語で、ラストの数行が今の執筆活動を支える原動力となっている」と自身が本を通じて得たエピソードについてお話しされました。また、佐藤さんが『礼儀作法入門』をおすすめした理由として、「この本は礼儀作法とは何かを学べる1冊です。社会人としての礼儀作法を学ぶのに役立つので、もうすぐ就職を控える大学生や、社会人になりたての方々に読んでもらいたい」と語りました。

当日は『盤上の向日葵』の制作時の苦労や、藤井聡太さんの活躍など、普段伺えない興味深い話が次々と展開され、40分間のトークセッションはあっという間でした。観覧者から、「もっとお話を聞きたい」との声が多く寄せられるほど充実した内容でした。



【ファイナル】

トークセッション終了後、グリーンホールにてセミファイナルを勝ち抜いた6名の出場者が壇上に上がり、ファイナルが開催されました。発表順は以下の通りです。

1. セミファイナル④ 鳥取短期大学 遠藤聡志さん
2. セミファイナル③ テクノ・ホルティ園芸専門学校 小此木陽菜さん
3. セミファイナル② 帝京大学 高瀬皓太さん
4. セミファイナル⑤ 叡啓大学 豊崎花さん
5. セミファイナル⑥ 石川県立大学 櫻井亜仁沙さん
6. セミファイナル① 昭和女子大学 小林美紅さん



ファイナルでは、質疑応答の時間がセミファイナルよりも 1 分長い 3 分間となることが説明されました。その後、出場者たちは降壇し、トップバッターの遠藤さんがカモシダさんの紹介を受けて再登壇し、ファイナルがスタートしました。

1. 遠藤聡志さん 長坂真護著『1 まいのがようし』あかね書房（2022）

遠藤さんは「無類の絵本好き」として、特に大好きな絵本としてこちらを紹介しました。この作品はガーナのスラム街を舞台にした珍しいテーマで、3 人の子どもたちが絵描きと名乗る男との出会いを通じて行動し、その後の人生が描かれています。遠藤さんは「まず、著者についての情報を入れずに読むこと」を推奨しました。読後に著者の背景を知ること、物語への印象が深まると語りました。質疑応答では、「子どもたちがその本を読むとどのような影響があったりするのか、どのような気持ちになっていくのか？」という質問に対し、「この絵本の中では、絵を描くことに対する思いというの描かれているのですが、「うまく書くことよりも大切なことがある」ということを子どもたちであったりとか、大人のみなさんにも伝わったら」と答えました。

2. 小此木陽菜さん 七尾与史著『全裸刑事チャーリー』宝島社（2021）

「今年の夏、暑くて服を着たくないと思ったことはありませんか？」というユニークな問いかけから発表が始まりました。この本は全裸を推奨する「ヌーディスト法」が施行された世界で、全裸の刑事が事件を解決するミステリー小説です。ミステリー小説ですが、ミステリーの謎解き以外にもこの本には魅力があると小此木さんは考えていて、ユーモアや社会問題が絡む一方、下品な描写もあるため注意が必要とのこと。小此木さん自身は両親から商品券で贈られた本として会場を盛り上げました。

3. 高瀬皓太さん 柞刈湯葉著『まず牛を球とします。』河出書房新社（2022）

『まず牛を球とします。』の舞台では、「動物を殺すことにナンセンスである」という風に捉えています。人々は「牛を食べたいけど、殺したくない」けど、牛に限らず、動物を食

べるためにはまず殺さないといけない。このような矛盾した欲求を抱えた人類が出した結論が「牛を動物でなくしてしまおう」というもので、牛を培養液で育てるという奇妙な世界でどのように生きていくのか、その日常がこの本でつづられています。この本を読み終わった後に、よく耳にするワード（生成 AI・多様性など）と実際の私たちの生活との距離の近さにかなり驚くのではないかと高瀬さんは思っているとのこと。質疑応答では、「これからの日本が行き過ぎた多様性の状況に陥ってしまうのではないかと感じたが、その点についてはどう思うか？」という質問に対し、高瀬さんは「この本に私たちの未来が詰まっている。物語に登場する肉は、すでに実在しています。この本が行き過ぎるとフィクションではなくノンフィクションになってしまうと思うので、このままフィクションであってほしいです」と答えました。

4. 豊崎花さん 川瀬七緒著『四日間家族』KADOKAWA (2023)

豊崎さんが紹介したのは、命を絶とうと集まった4人が共同生活を通じて新たな価値観を見出す小説です。豊崎さんは普段、雑誌を読まないのですが、昔ながらの定食屋さんに行った際、テーブルの上に置かれていた週刊誌を何気なくめくってみたところ、「ドブのような人たちと関わることで得られる新しい価値観もある」という一文が目にとまりました。その瞬間、「ドブのような人？」と思わず驚き、普通そんな表現は使わないだろうし、酷い言葉だなと思ったそうです。そのフレーズとともに紹介されていたのが『四日間家族』という本でした。興味を持って読んでみたところ、豊崎さんは「ドブでした」という感想を口に、会場が笑いに包まれました。この本は、過去や性格に問題を抱えた、年齢も性別もバラバラな4人が、自ら命を絶つためにインターネットで集まり、行動を共にする物語です。4人が一つの命を作り上げるところから始まる物語で、一見すると「命の大切さを見つめ直す話」に思えるかもしれませんが、しかし、それはほんの一部分に過ぎず、登場人物たちの嫌な面や気持ち悪さが描かれている点も、この小説の魅力となっています。豊崎さんは、「読んだ方々はきっと、登場人物たちを好きになってしまうのではないのでしょうか」と語りました。さらに、「この本を読んだ人が、主人公たちのことをどう受け止めるのかが気になります。ぜひ感想をSNSで共有してほしい」とも話していました。

5. 櫻井亜仁沙さん 江戸川乱歩著『江戸川乱歩傑作集3 芋虫』リブレ出版 (2015)

櫻井さんは発表の冒頭で、「2016年の相模原事件についてご存知ですか？」と会場に問いかけました。そして、「皆さんの中で、介護が必要な方はいらっしゃいますか？もし自分が将来、介護を必要とする立場になったときに、「生きる価値がないから」という理由で命を奪われても仕方ないと思えるのでしょうか？」と問いかけ、このようなテーマについて深く考えさせられるのが『芋虫』だと語りました。『江戸川乱歩傑作集3 芋虫』は一組の夫婦を描いた物語です。戦争の時代、無事に帰還した夫は、全ての手足を失い、耳も聞こえず、言葉を発することもできなくなり、視覚と触覚以外のすべてを失ってしまいます。夫の動き回る姿はさながら芋虫のようであり、妻はそんな夫を1人で支え続けます。その献身的な姿勢に、世間からは「献身的な妻」と称賛の声が寄せられますが、実際には、妻は日常的に夫を痛めつけることで快樂を得ていました。「そんなの酷い」と思うかもしれませんが、この作品が興味深いのは、それが「愛の物語」である点です。20数ページという短い作品ながら、内容は非常に重く、読者を衝撃の結末へと導きます。「人間とは何か？生きる

価値とは何か？」20数ページの中に重いテーマが凝縮されています。最後の結末をぜひ自身の目で見届けてください、と櫻井さんは力強く語り、発表を締めくくりました。

6. 小林美紅さん 井上真偽著『アリアドネの声』幻冬舎（2023）

「ここは世界有数の地震大国、日本。地下を巻き込む巨大地震が発生し、地下に1年間、女性を取り残されてしまいました。その女性は、『見えない・聞こえない・話せない』という三重の障害を抱えていました」という語りから、小林さんの発表が始まりました。『アリアドネの声』は、三重の障害を抱える女性を「アリアドネ」という名のドローンを使って救出する物語を描いたミステリー作品です。マグニチュード7.2の巨大地震が発生し、地下の危険地帯に取り残された女性を救うために与えられたタイムリミットは、わずか6時間。この緊迫した状況で、主人公がどのように彼女を救い出すのか、という描写には、不安や緊張感が詰まっており、読者の鼓動を早めます。しかし、この作品は単なるサスペンスではありません。厄介な登場人物や浮かび上がる疑惑なども絡み合い、ミステリーとしての深みも備えています。と紹介されました。主人公が地下に取り残された彼女をさまざまな方法で助け出そうと奮闘するシーンについて、小林さんは「こんな方法があったのか！」と何度も驚かされたそうです。

6名のファイナリストの発表が終了し、投票が行われました。どの発表も魅力的で、会場全体が「どの本に投票すべきか」と悩みながらの時間となりました。

【表彰式・閉会式】

小休止後、表彰式・閉会式が始まりました。今回は佐藤康光さんが「ゲスト特別賞」、柚月裕子さんが「準グランドチャンプ本」、谷口さんが「グランドチャンプ本」のプレゼンターを務めました。

各賞を受賞された方は以下の通りです。

<ゲスト特別賞>

櫻井亜仁沙さん（江戸川乱歩著『江戸川乱歩傑作集3 芋虫』リブレ出版）

<準グランドチャンプ本>

豊崎花さん（川瀬七緒著『四日間家族』KADOKAWA）

<グランドチャンプ本>

小此木陽菜さん（七尾与史著『全裸刑事チャーリー』宝島社）

今回、全国大学ビブリオバトル史上初めて、大学生以外のグランドチャンプ獲得者が誕生しました。司会のカモシダさんは「これはすごい快挙だ！」と興奮しながら小此木さんを讃えました。

グランドチャンプ本を獲得した小此木さんは、「まず自分がこの舞台に立っていることが、現実感がない気持ちです。運営に携わってくださった方々、そしてこの本を買ってくれた両親

に感謝を伝えたいです。また、ブロック予選に出場した際、作者の七尾さんから『気持ちは嬉しいけど、日本の将来が心配です』とコメントをいただきましたが、こうして選んでもらえたのは本当に嬉しいことです。ぜひ皆さんにもこの本を読んでいただきたいです。」というコメントをされていました。

そして、ゲストの佐藤さんからは、「1冊の本を丁寧に紹介されたことに感動を覚えました。普段読まないジャンルの本に触れられる機会をいただきましたので、今後さらに本を読んで学びたいと思います。」と語り、同じくゲストの柚月裕子さんは、「ビブリオバトルを見て久しぶりに本が読みたくなりました。6冊それぞれに面白さがあり、帰りに書店で購入しようと思います。また、小説の可能性や魅力を改めて感じることができました。」とお話しされました。

表彰式の最後には、これまでの全国大学ビブリオバトルの軌跡を振り返る映像が上映されました。そして、次回の全国大学ビブリオバトルが2025年11月23日(日)に長崎県佐世保市での開催が発表され、会場は大きな歓声に包まれました。

全国大学ビブリオバトル終了後、ゲスト特別賞を受賞した櫻井さん、準グランドチャンプ本を獲得した豊崎さん、グランドチャンプ本を獲得した小此木さんにインタビューを行いました。

ゲスト特別賞を受賞した櫻井さんは、「決勝戦でグランドチャンプ本を獲得することまでは全く想像していませんでした。ただ、とにかく自分にできることを全て出し切ろうと思い、楽しんでやり切ることに集中しました。その結果、ゲスト特別賞を受賞できたことは本当に嬉しく、満足しています。」と喜びを語りました。

準グランドチャンプ本を獲得した豊崎さんは、「準グランドチャンプ本を獲得したということがまだ不思議な感覚です。正直、あと一步でグランドチャンプ本に届かなかった悔しさもありますが、それでも準グランドチャンプ本という素晴らしい結果に感謝しています。」と率直な気持ちを述べました。

グランドチャンプ本を獲得した小此木さんは、「大会の名簿を見たとき、自分だけ専門学校の名前が横文字で書かれていて、『浮いている』と感じ、不安でした。でも、発表時には、仲良くなった人たちや応援してくれる方々の顔を見て安心でき、何とか落ち着いて発表することができました。今、糸が切れたような感覚なので、帰りはきっと爆睡すると思います。」と笑顔で今の心境を語りました。

全国大学ビブリオバトルで初めて大学生以外の学生(専門学生)がグランドチャンプ本を獲得したことについて聞くと、「史上初の快挙を成し遂げたと聞いて、すごく嬉しいです。出場前は『専門学生でも出場していいのかな?』と悩むこともありましたが、今回をきっかけに専門学生など、さまざまな人がこの大会に参加するようになったら楽しいだろうなと思います。」と語りました。

また、「ご両親にお伝えしたいことはありますか?」という質問には、「あの時、この本を買ってくれたことに感謝しています。本当にありがとうございましたと伝えたいです。」と感謝の気持ちを述べました。



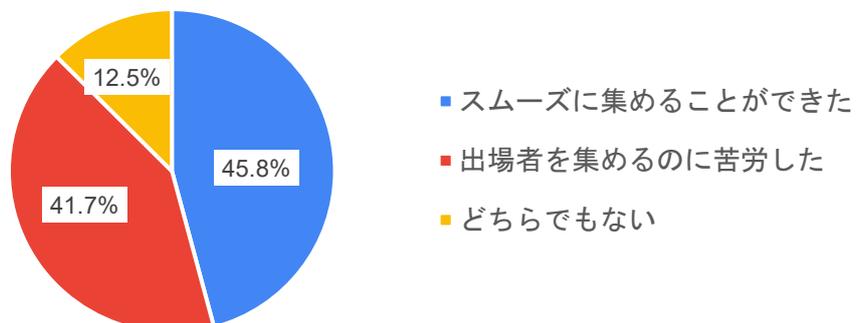
最後になりますが、司会を務めてくださったカモシダさん、酒井さん、レポーターの吉富さん、ゲストの柚月さん、佐藤さん、谷口さん、昭和女子大学の学生の皆さんをはじめ、教職員の皆さん、活字文化推進会議、ビブリオバトル協会、ビブリオバトル普及委員会の各スタッフの皆さん、全国各地の予選会を勝ち抜き、本戦に出場された30名の学生の皆さん、当日会場に足を運んでくださり、共に場を盛り上げ投票にご参加いただいた皆さん、そして各地区の予選会を運営してくださった全ての皆さん、全国の出場者皆さんに、心より感謝申し上げます。

来年、長崎で開催される全国大学ビブリオバトルで、また皆さんにお会いできることを心から楽しみにしております。

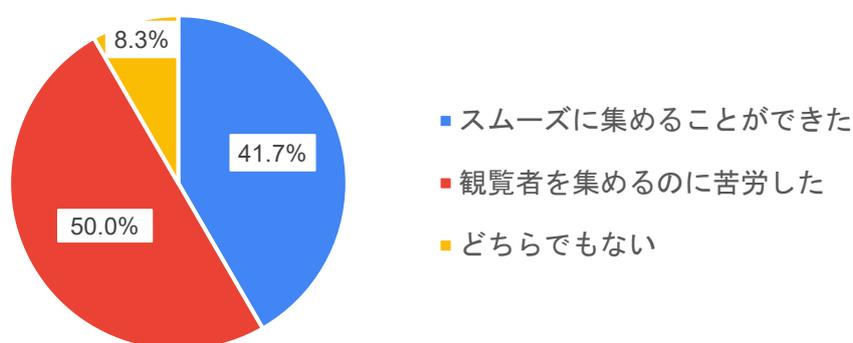
5 その他

5-1 予選団体アンケート結果

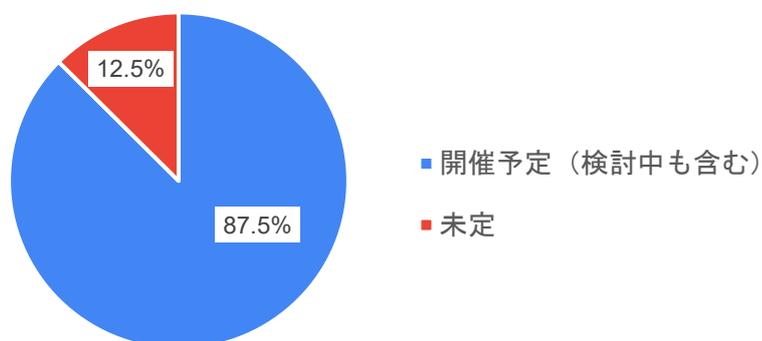
◆出場者（発表参加者）は順調に集められたか？（24件回答）



◆観覧者は順調に集められたか？（24件回答）



◆次年度の大会の開催予定について（24件回答）



5-2 ブロック予選・ブロック決戦主催団体 広報ウェブサイト

ブロック予選・ブロック決戦主催団体の広報ウェブサイト、チラシ等は全国大学ビブリオバトル2024公式ウェブサイト記録ページ(<https://zenkoku.bibliobattle.jp/records2024>)にて公開している。

6 記録

6-1 ちらし・ポスター素材

12/22 SUN
正午開会
募集定員
500人

観覧者募集
入場無料
締切日: 12月8日
※詳しくは裏面をご覧ください。

会場
昭和女子大学
(東京都世田谷区)

全国大学
ビブリオバトル
2024

ニコニコ動画
生放送
ライブ配信!

作家
柚月裕子さん
1968年岩手県出身。2008年『臨床真実』で「このミステリーがすごい!」大賞を受賞しデビュー。13年『検事の本懐』で大森春彦賞を受賞、16年『孤狼の血』で日本推理作家協会賞を受賞。18年『盤上の向日葵』は本屋大賞 2位。その他の著書に『慈雨』『月下のサクラ』『ミカエルの鼓動』。近著は読売新聞に連載された初の家族小説『風に立つ』。

将棋棋士
佐藤康光さん
1969年京都府出身。1歳下の羽生善治九段らとともに平成の将棋史に名を刻み、タイトル獲得は歴代8位の通算 13期。永世棋聖の資格を持つ。2017~23年、日本将棋連盟会長を務めた。「丸太」と形容される力強い棋風は健在で、藤井聡太七冠が君臨する令和の将棋界でも存在感を放つ。著書に『長考力 1000手先を読む技術』(幻冬舎)など。

イラスト くずしる
漫画家。岩手出身。女流棋士たちが激しい戦いを繰り広げる『永世乙女の戦い方』をビッグコミックスベリオールで連載中

日本将棋連盟提供

【お問い合わせ】 活字文化推進会議事務局 ☎03-3217-4302(平日午前10時~午後4時)

主催: 活字文化推進会議 共催: ビブリオバトル普及委員会、ビブリオバトル協会 特別協力: 昭和女子大学 協力: 松竹芸能
協賛: 日本書籍出版協会 主管: 読売新聞社 後援: 日本書店商業組合連合会、文字・活字文化推進機構、大日本印刷、文部科学省

150th
読売新聞

6-2 メディア掲載（一部）



登壇した作家の袖月穂子さん（左）と編集者の佐藤康光さん（右）

「将棋と読書 異色トーク 袖月穂子さん×佐藤康光さん」

「将棋と読書 異色トーク 袖月穂子さん×佐藤康光さん」



約50人の観客が参加した「将棋と読書 異色トーク」の様子

【主催】読書文化推進協議会
【協賛】読書文化推進協議会、読書文化推進協議会、読書文化推進協議会

※当日の様子は、ニコニコ生放送で放映され、1万人以上が視聴した。配信は、ニコニコ生放送のタイムシフトや、YouTube、TBSのウェブサイト、QRコードで視聴できる。

全国大学ビブリアバトル2024

謎解きより「服脱ぎ」の妙



「全裸刑事 チャーリー」

「全裸刑事 チャーリー」

「全裸刑事 チャーリー」

ゲスト特別賞 芋虫 江戸川乱歩著、リブレ



「人間扱いきれぬ男何思う」

「人間扱いきれぬ男何思う」

準グランドチャンプ本 四日間家族 川瀬七緒著、KADOKAWA



「ドブのような4人が好き」

「ドブのような4人が好き」

2025年1月22日（水）読売新聞 朝刊

一般社団法人ビブリオバトル協会のご案内

ビブリオバトルは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチフレーズとしたゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの書評合戦です。全国の小中学校、高等学校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒など様々な場所で開催されており、その楽しさが広く共有されています。ビブリオバトル普及委員会は、ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させることを目的とする団体です。ビブリオバトル普及委員会は法人格を持たない有志の集まりですので、それを裏から支え、運営業務を受け持つ法人が一般社団法人ビブリオバトル協会となります。

連絡先

メールアドレス：info@bibliobattle.jp

公式ウェブサイト：<https://association.bibliobattle.jp/home>

役員

(理事・代表理事)	谷口 忠大
(理事・副代表理事)	須藤 秀紹
(理事)	小林 秀高
(理事)	坂本 牧葉
(監事)	大川 真司

サポーター会員募集

私たちは、「ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させること」を目的とし活動しています。この私たちの活動の趣旨にご賛同くださり、サポーターとしてご支援いただける団体・企業の皆さまを募集しています。

サポーター会員募集のご案内：<https://www.bibliobattle.jp/supporter>

2024 年度サポーター会員様（敬省略）

- ・株式会社図書館流通センター
- ・株式会社ブックエース
- ・東京創元社
- ・子どもの未来社
- ・デーリー東北新聞社
- ・あんとれボックス
- ・国立大学法人筑波大学 情報学群知識情報・図書館学類
- ・アルペ記述読解教室
- ・まちなかビブリオ倶楽部

ビブリオバトル普及委員会のご案内

ビブリオバトル普及委員会は、知的書評合戦ビブリオバトルをより広く普及させることを目的として活動する任意団体です。主催や参加、見学、取材のご相談などは、お気軽に下記までご一報ください。

連絡先

メールアドレス：info@bibliobattle.jp

公式ウェブサイト：<http://www.bibliobattle.jp/>

役員

(理事・代表)	須藤 秀紹 (近畿大学情報学部)
(理事・副代表)	小林 秀高 (拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科)
(理事・副代表)	坂本 牧葉 (北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科)
(理事)	飯島 玲生 (名古屋大学)
(理事)	益井 博史 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	佐藤 慧 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	榎村 真由 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	永野 舞子 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	宮本 皐 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	今坂 朋彦 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(理事)	谷 芳明 (ビブリオバトル普及委員会普及委員)
(監査役)	大川 真司 (大川公認会計士・税理士事務所)

地区代表

地区名	地区代表者、副代表者名
北海道	小林 秀高 (副) 永野 舞子
東北	貝森 義仁 (副) 加藤 啓太
関東	瀬部 貴行 (副) 市川 紀子
北陸	藤野 秀則 (副) 本吉 達郎、(副) 鎌田 康裕
中部内陸	荒戸 寛樹
東海	飯島 玲生 (副) 岡野 裕行
関西・中国	益井 博史 (副) 水野 五郎
四国	西村 浩子 (副) 佐々木 奈三江
九州	佐藤 慧 (副) 林 鉄郎

会員：530名 (2025年1月31日現在)

新規会員の募集について

ビブリオバトル普及委員会は、ビブリオバトルの普及を通して、世の中のコミュニケーションや知識共有、人々のつながりを活性化させることを目的としボランティアで活動しています。入会を希望される方は、入会申請フォームをご確認の上、お申込みください。

入会申請フォーム：<https://www.bibliobattle.jp/aboutus/admission>

関連書籍の紹介

『ビブリオバトル ガイドブック ルール改訂版』

編著：ビブリオバトル普及委員会
出版社：子どもの未来社
出版年月：2023年9月



【内容】

様々な場所やオンライン・SNSでも楽しめる「Bibliobattle of the Year」を受賞した個人や団体のユニークな取り組みを紹介。ルール改訂を踏まえてビブリオバトルの魅力を見ることができる1冊。

2009年に紹介されて14年が経ち、今では多くの人たちが本のコミュニケーションゲームとしてビブリオバトルを楽しんでいます。

さらに様々な場面で、またビブリオバトルをもっといろいろな活用したいと考えている方にお勧めのガイドブックができました。個性的で楽しくてワクワクする事例が満載です。SNSでの開催例も載っていますよ。

(子どもの未来社サイトより)

『コミュニケーション場のメカニズムデザイン』

著者：
谷口 忠大、石川 竜一郎（編著）
中川 智皓、蓮行、井之上 直也、末長 英里子、
益井 博史（執筆者）
出版社：慶應義塾大学出版会
出版年月：2021年10月



【内容】

▼ビブリオバトル、ディベート、演劇ワークショップ、発話権取引の実践から「コミュニケーション場」のメカニズムを解明する。

▼ビジネスの「会議」、教育の場の「議論」などの「質」と「量」を改善する！

▼「コミュニケーション」についての新たな総合的アプローチの提案。

一部の人だけが話す会議、かみ合わない議論…。

誰もが経験する、コミュニケーションの「失敗」に対し、「場」の「メカニズム」に注目し、実践と理論の両方から検討する。ビブリオバトル、ディベート、演劇ワークショップ、発話権取引についての分析と、メカニズムデザイン理論、自然言語処理の知見を加わる。

(慶應義塾大学出版会サイトより)